



道徳通信

No. 31

平成29年11月1日発行
道徳教育推進委員会

インターネット適正利用に係る研修会

10月21日（土）に千葉県庁環境生活部 県民生活・文化課の金原直美先生から、インターネットの適正利用に関する研修会が行われました。

実際のネットパトロールを実施している立場から、注意すべき点や様々なトラブルに巻き込まれない、他の人を巻き込まない方法等についてお話を伺うことができました。

少しの気づかいが、大きな問題を防ぐ近道になることを実感できたことと思います。また、悪意ある第三者に付け入るスキを与えないことを心掛けさせる視点を学びました。

また、生徒間の SNS 利用に対する捉え方は、教員とは全く違うものであることを肝に銘じておく必要がありそうです。

に実施しました。

生徒は、いつもと違う雰囲気に対し緊張しながらも真剣に授業に取り組んでいました。参観いただいた方からは、「先生各人によって、やり方に違いがあり、個性が出ていたと思います」「生徒たちは自分の考えを『ワークシート』に記入していましたが、考えをより深く導くことができると思います」など、ありがたいお言葉をいただきました。また、我々とは異なる視点からの貴重な御意見もいただくことができました。それらを今後の指導に活かしていきたいと思っています。



指導参考資料の購入等について

今年度は、特色ある道徳教育推進校の指定を受け、研修等で活用できるような書籍の購入が可能な状況にあります。現時点での候補を挙げておきます。これ以外に入手しておいた方がよい書籍があれば、お知らせください。

8

児童・生徒のLINEコミュニケーションの対象

児童・生徒のLINEコミュニケーションの特徴

- ・友人や家族等、身近で親しい人々
- ・相手が親しいほど頻用
- ⇒親しい友人との対面コミュニケーションを物理的に離れた場にまで延長するためのツールとしてLINEを使用 (土井,2014;若本,2014a,b,2016)

LINEコミュニケーション・トラブルの教育・指導をすするときは現実の対人関係や対面状況でのコミュニケーションとの連続性で捉える必要あり

(第30号で報告した原田先生提供資料より引用)

心の教育推進キャンペーン道徳公開授業実施される

10月26日（木）午後、1年生のLHRの時間に「道徳授業」の公開が行われました。

今回は、心の教育推進キャンペーン事業の一環として、保護者の皆様と地域の方々を対象

J-POPで創る中学道徳授業	柴田 克
J-POPで創る中学道徳授業2	柴田 克
モラルシナマ教材でする白熱討論の道徳授業 中学校・高等学校編	荒木 紀幸【監修】
中学生にシーンと響く道徳話100選―道徳力を引き出す“名言逸話”活用授業	長谷川博之
実話をもとにした道徳ノンフィクション資料集	永田 繁雄・山田 誠
高校生のための道徳教科書	慶徳大学道徳科学センター
考える道徳を創る 中学校 新モラルシナマ教材と授業展開	荒木紀幸
新発想!道徳のアクティブ・ラーニング型授業はこれだ!	
問題解決ワークショップで道徳性を深化する	大野正一郎